



《創立154周年》 校訓 ～ 強く 正しく 明るく ～

学校だより
2月号
曾於市立財部小学校
R7.2.12

財部小だより

「自らを律し、主体的に学び続ける子供を育てる」

ホームページ：<http://www12.synapse.ne.jp/takarabe-es/>

「た」たのしく登校
「か」考えて行動
「ら」ラストまであきらめず
「べ」ベストをつくす



日本人の心を子どもたちに伝えたい！

校長 井手 英男

最近、様々な国際大会の会場で試合終了後、日本人のゴミ清掃の様子がSNSやテレビ等で話題にあがることになりました。この行為は、日本人としては当然の行為であっても、他国の方々からは称賛を浴びる出来事となります。これは、日本人の徳のすばらしさであり、日本人を育ててきた文化ではないでしょうか。「島国日本」と揶揄されることが多いですが、島国だから育まれてきた歴史と文化を我々日本人は次の世代に受け継いでいかなければならないと考えます。

さて、これからの日本は、「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」としてSociety 5.0の社会で生き抜く、「流行」を備えた子どもたちを育てないといけません。しかし、このような日本で忘れてはならないのは、「不易」である「大切にしたい祖父母の教え＝日本人の心」と私はとらえます。

家庭や学校、会社など、普段その中にいるとなかなかよさや問題点に気づかないものの、外から眺めると比較的簡単に見えてくることがあります。外国から見た日本の印象や、外国で活躍する日本人の姿などをもとに、日本人が培ってきた「心」について考えていきたいものです。

○ 日本はすばらしい国

外国の方が、日本に旅行にきてスーツケースと財布の入ったバッグを駅のホームに置いたまま別の電車に乗ってしまい諦めていると、その荷物が盗まれることなく手元に戻ってきたことがあり、「日本はすばらしい国」と大いに驚き、絶賛したそうです。今から400年以上前に、キリスト教を広めるためにやって来たフランシスコ・ザビエルは、日本人について『キリスト教徒にしる異教徒にしる、日本人ほど盗みを嫌う者に会った覚えはありません』（『ザビエルの見た日本』講談社学術文庫）と手紙に書いています。

“今の日本はどうなのかな”と感じる半面、昔から日本がよく思われてきたことを誇らしく思います。また、今のこの子どもたちにもこの心情を育んでいきたいですね。

○ 世界から認められた日本

明治10年に東京大学の教師として来日したエドワード・モース（大森貝塚発見者）は、次のように日本人を讃えています。「自分の国で人道の名において道徳的教訓の重荷になっている善徳や品性を、日本人は生まれながらに持っていることがある。衣服の簡素、家庭の整理、周囲の清潔、自然およびすべての自然物に対する愛、あっさりして魅力に富む芸術、挙動の礼儀正しさ、他人の感情についての思いやり等、これらは恵まれた階級の人々ばかりでなく、最も貧しい人々も持っている特質である」（石川欣一訳『日本その日その日（1）』平凡社東洋文庫）幕末・明治には多くの外国人が日本へやって来ましたが、彼らは「世界一礼儀正しい」、「本物の平等精神が社会の隅々まで浸透している」などと、日本人の心のあり方や生き方を認めていたそうです。

○ 他国でその国のために活躍する日本人

“ジャポネース・ガランチード”これはブラジルの人々が日系人に対して、「日本人なら間違いない」という意味で用いる言葉です。明治以降、多くの日本人がブラジルに渡っていましたが、先人たちはさまざまな困難の中、勤勉、工夫、挑戦、協力し合う心をもって生き抜き、ブラジル社会に貢献していきました。そうした姿が日系人への信頼を高めていったのです。

○ 「日本人の心」を大切に受け継ぎたい

“世のため、人のため”こうした言葉を父母や祖父母から聞かされてきた人は少なくないはずですが、それは、私たちが成長する過程での励ましや叱咤であったかもしれませんし、あるいは、父母や祖父母が自分自身に対して言い聞かせるために口にしてきた言葉かもしれません。こうした言葉が自然に交わされる社会を日本人は築いてきました。正直、勤勉、礼節、孝行、他者への思いやりなどの「日本人の心」は、決して忘れ去られてよいものではありません。先人が守り続けてきた「日本人の心」を大切に受け継いでいきたいものです。

夢集会 1月21日(火)

学期1回、高・中・低学年の順番に校内放送で、「夢」について、学級の代表児童が発表する活動を行っています。右は、新聞にも掲載された2人の作文です。

20年後はどのような職業があるのでしょうか。夢は変わるかもしれませんが、夢を考えることを大切にしたいですね。(南日本新聞掲載 1/25, 2/3)

先生になりたい
財部小4年 下村 麻友
将来の夢は小学校の先生です。大好きな先生になりたいからです。先生は、とび箱をとべないときに、手の位置や足のふみきり方をやさしく教えてくださいました。昼休みに、できない人を集めてたくさん教えてくれました。

子どもたちと楽しむ先生に
財部小3年 荒場 奈真
4さいの妹を保育園にむかえに行った時です。先生が笑顔であいさつをしてくれました。こんなすてきな保育士になりたいと思いました。

いろいろな仕事があります。保育士は、子どもたちとおゆうぎをしたりお絵かきをして楽しくすごすことで、先生自身もうれしい気持ちになる仕事だと思います。

保育士になるためにはんばっていることは、家で妹のお世話をすることです。どうしたら楽しく遊ぶことができるのかを考えています。

多くの試験にも合格しなければなりません。心の勉強も大事だと思うので、道徳をがんばっています。子どもたちに人気があつて、やさしくて、しっかりしていて、「保育園に行きたい」と思ってもらえるような保育士になりたいです。(曹於市)

花のプレゼント

2月4日(木)

校区内のお世話になっている方々へ、委員会活動で育てた花(カランコエ)をプレゼントしました。シルバー人材センター、社会福祉協議会、しゃら保育園、民生員・学校応援団(ミシンボランティア)の方々へお届けしたところ、大変喜んでいただきました。



季節を体感! 季節を発見!

寒波の雪を喜ぶ子どもたち

冬探しで牛乳パック氷に挑戦する子達
2月5日の雪の日は、元気いっぱい降雪を喜んでいました。風邪をひかないように気を付けましょう。



春を待つ花たち(新校舎南側)



花も
うすく
春咲く
ですね

令和7年度新入生入学説明会

2月6日(木) 財部小体育館 43名参加

5年生が準備した会場(メッセージ付き座席)で、入学に向けた準備、PTAの紹介、特認校制度の説明などがありました。不思議なもので、同じ内容を学校で教育していても、学年ごとに雰囲気は変わります。ぜひ、お互いのお子様を知り、学級PTAなどで情報交換しながら、一緒に課題を解決し育てていく学年にしていきましょう。



3学期も財部小PTA活動に御協力ありがとうございました!

バザー盛大に開催 1月25日(土)

今回はイートインスペースを設け、食べた後のゴミが出ないよう、ゴミをきちんと捨てた子に風船のプレゼントがありました。子どもたちもたくさんの買い物をして楽しそうでした。



パン・ジュース 焼き鳥ほか



寄贈品販売 くじ・型抜き

市P連の集い(県P委嘱公開) 2月1日(土)

令和6年度市P連事務局は、財部小PTAが中心となり、関係者含め700人近い参加者の会を運営しました。トークショーにお招きした前園真聖さんとKKBの下鶴アナウンサーから学校にサインをいただいております。(⇒玄関棚)



【活躍】

オープニング(財部小金管バンド)、イベント企画「世界に挑戦」(リポーター:永田優舞教諭, 紙飛行機優勝:6年 西村颯太郎), 3校PTA活動発表ファシリテーター(井手英男校長), 閉会の挨拶(西村欣也市P連会長), 横断幕準備(書:永田優舞教諭)



愛校作業 2月9日(日)

2階の各教室の高所清掃と、ベルマーク集計作業を行いました。

※御協力いただいたベルマークで学校に必要なモノを年度内に購入予定です。また、集計の残り分は2月13日、美化部(高学年)で行う予定です。



主な行事予定

【2月】

- 4日(火) 委員会活動
- 5日(水) ◆校納金引落日
- 6日(木) 財部小学校入学説明会
- 7日(金) さんぺい号来校
- 8日(土) 土曜授業の日
- 11日(火) 【祝】建国記念の日
- 13日(木) 授業参観・学級PTA・学校保健委員会 PTA 拡大理事会
- 17日(月) 校納金引落日
- 18日(火) クラブ活動(クラブ見学)
- 21日(金) さんぺい号来校
- 23日(日) 【祝】天皇誕生日



【3月】

- 3日(月) 学期末B校時(~21日)
- 5日(水) 学期末5校時授業(~18日), 校納金引落日
- 6日(木) 卒業式合同練習
- 7日(金) 6年生を送る会, さんぺい号来校
- 11日(火) 卒業式合同練習
- 14日(金) 卒業式予行
- 17日(月) 校納金引落日
- 18日(火) 特別支援学級しめくくりの会
- 19日(水) 卒業式準備
- 21日(金) いじめアンケート, おそうじチェックの日, さんぺい号来校(返却のみ)
- 24日(月) 卒業式
- 25日(火) 修了式, 大掃除, 離任式, PTA送別会



